

自主防災組織とは

災害の規模が大きければ大きいほど、救援活動をする行政機関（自治体・消防・警察・自衛隊）等も被災する可能性が高くまた、災害が広範囲に及ぶため、救援隊の到着が遅くなったり、手が届かなく恐れがあります。

このため大規模災害発生時には、地域住民自身が「自分の命は自分で守る」「自分達の町は自分達で守る」ことに徹しなければなりません。そのための最も実際的かつ効率的な形態が自主防災組織です。

自主防災組織は、普段から防災計画立案、災害対応の手順の確認、役割分担、資機材の確保などを進め、防災訓練や住民への防災啓発活動を実施していく組織です。

- ◎ 今地震が起こったらどうする。
- ◎ まず自助、自分を守る、家族を守る行動。
- ◎ まわりの（近隣）の人たちは大丈夫か？
- ◎ 予震も怖い～ 避難が必要
- ◎ 避難所へ避難